

第 57 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会会議議事概要

開催日	令和 4 年 11 月 21 日（月）	
場所	独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室	
委員氏名	委員長 西 貴久雄（独立行政法人国民生活センター監事） 委員 有川 博（日本大学総合科学研究所教授） 委員 山内 容（弁護士） 委員 竹内 啓博（公認会計士・税理士） 委員 柏尾 哲哉（独立行政法人国民生活センター監事）	
抽出案件	5 件	（備考） ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について、報告した。 ・概要として、第 1 四半期の契約の状況を踏まえ、一者応札・一者応募（事案 1、2）、落札率 90%超の契約（事案 3、4、5）について審議対象とした旨報告した。
（内訳）		
一般競争入札	5 件	
公募	0 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	令和 4 年度第 1 四半期に契約締結した抽出案件および検証結果の審議内容は、別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>【事案1】 令和4年度東京事務所における定期健康診断業務（総務課）</p> <p>・前々回の調達においては一者応札であり、改善策として前回の調達では公告期間を長くとしている。今回は公告期間が短いことにより、参加者が少なくなったのであれば、改善策を継続させる必要があったのではないか。また、押印手続きに時間を要するなど昨今は押印廃止の流れもあるので、手続きを変更するなどを検討するべき。</p>	<p>・ご指摘を踏まえて、今後対応していく。押印についてはヒアリングするなどを踏まえ、廃止を検討していく。</p>
<p>【事案2】 独立行政法人国民生活センター複合機(11台) 賃貸借及び保守業務等一式（会計課）</p> <p>・コインコピー機1台を含めた一括調達としたことが入札参加の障壁となっていたならば、分割調達も想定した調達を検討するべき。次回の調達時には改善策を検討しておく必要がある。</p>	<p>・ご指摘を踏まえて、今後対応していく。</p>
<p>【事案3】 令和4年度東京事務所総合管理業務（会計課）</p> <p>・予定価格を作成する参考として見積書を徴取しているが、予定価格算定根拠の資料としてほとんど使用していないのはなぜか。また、1者しか見積書がないのはなぜか。</p>	<p>・市場価格を反映するため多くが物価資料で積算可能と判断した。見積は一部項目では必要になるが、今後は複数者の見積を取得できるように対応していきたい。</p>

意見・質問	回 答
<p>【事案4】 訪日観光客向け相談窓口における三者間通訳による多言語通訳サービス業務（相談情報部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価で入札を行う場合は、技術は高いが予定価格の積算において競争性を考慮した価格となるよう工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の点を踏まえて、今後適切に対応していきたい。
<p>【事案5】 PIO-NET2020 用プリンタトナーの購入（情報管理部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加事業者について回答が得られずとあるが、これはどういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞退理由を確認したが事業者側から回答を得られなかった。